

皆さん、こんにちは。葉玉です。

皆さんも知っての通り、昨日5月12日から31日まで、福岡県にも緊急事態宣言が出されています。最近では感染力が強い変異株が拡大し、若い世代の感染者も増えています。昨日の福岡県の感染者数は635人と過去最多、重症者も急増しており、私たちはこれまで以上により強い感染防止対策、自分がかからない、人にうつさないといった行動が必要です。皆さんは今一度、たとえば昼食後マスクをはずしたまま友達と近くで大声で話したりしていないかとか、部活動の際の一人一人の感染防止の自覚と対策は万全かなど、自己の行動を振り返り、3密回避、こまめな手洗い、咳エチケット、マスク着用、換気等の徹底や不要不急の外出・移動はしないなど、きついなと思うこともあるかもしれませんが、自分にできる最大限の行動を徹底して行いましょう。

加えて、現在、いつ誰が濃厚接触者になったり感染したりしても不思議ではない状況が強まっています。そんな中、つらく苦しい思いでコロナと戦っている人に対して、決して偏見を抱いたり、差別したりしないように、自分が言われて、されて嫌なことは絶対に人にしないでください。皆さんなら人の心の痛みのわかる人だと思っています。

さて、大運動会の件です。

4月30日付けで文書を発出したようにその時点で、今年度の大運動会は『無観客で午前中のみ実施、短期間の練習』と変更していましたが、この社会状況から今回さらに変更の必要が出てきました。緊急事態宣言中は、県の指導もあり、運動会・クラスマッチなどの学校行事は実施できません。では6月ならできるかといったらそれも不透明で、厳しいことが予想されます。よって今年度の本校の大運動会は、年度当初の予定6月5日には実施しないことを決定しました。それに伴い、中間考査後の準備や練習にあてていた期間はすべて授業とします。また、競技を伴う大運動会を6月のうちに一週ずらしたり、9月に延期したりといった一般的な意味での「延期」もしません。

本校の大運動会の目的は

「心身の健全な発達と体力の向上を図るとともに、生徒相互・職員と生徒間の理解を深める。また、伝習館の生徒としての自覚を高め、愛校心の育成を図るとともに、全校生徒が一体となり「情熱・協働・自律」をモットーに取り組み、社会情動的スキルの育成を図る」ことです。この目的を達成すべく、運動会の従前の定番のスタイルではなく、新しいスタイルで何かできることはないか、できる形態はないかを、中間考査後の短期間で、皆さんの代表として、正副実行委員長、各ブロック長、副ブロック長とともに考えていきたいと思えます。

運動場に集まって開会式から閉会式までの競技を行う定番のスタイルではなく、『これが令和3年度のコロナ禍における伝習館の新しい形での大運動会だ』といえるもの、後輩たちに継承できるものを創造するという希望をもちたいので、「中止」という言葉は使いません。ただし時間は限られています。あまり猶予期間はありません。創造というと難しく考えがちですが、全くそんな必要はありません。限られた時間とコロナ禍という制約の中で柔軟な発想でのチャレンジでいいのです。これまでの各ブロックや全体のプロセスを集めた記録的なもの、メッセージでもいいのです。詳細が決まったらできるだけ早く皆さんに伝えられるようにしたいと思います。

それではまずは明日からの中間考査にしっかり取り組んでください。